



成果指標				
成果指標	成年後見制度利用者数、老人福祉施設等への新規措置人数、高齢者虐待対応件数、困難事例対応件数の総数を成果指標とする。			
指標設定の考え方	対応件数の増加により、困難な状況におかれている高齢者の状況が把握できる。また、対策を講じることにより、高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心した生活ができるようになると思われる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	50	50	50	0
実績	37	25	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	認知症高齢者・虐待・振込め詐欺や悪質商法の被害など高齢者を不安にさせることは増えている。身寄りのない高齢者の死亡事案、家族の協力が得られない事案など困難事案について、関係者や関係機関と連携しながら取り組んでいる。職員間での情報の共有を行なうと共に、様々な事案に対応できるよう職員が研修等に参加しスキルアップに努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	困難な状況におかれている高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心した生活ができるよう専門的・継続的視点からの支援を行うためにも同事業は継続して行うべきである。今後も引き続き職員間での情報の共有を行なうと共に、様々な事案に対応できるよう職員が研修等に参加しスキルアップに努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	